

北海道大学クラーク会館第 49 回パイプオルガン演奏会

パイプオルガンの夕べ

このたび、クラーク会館において下記のとおりオルガン演奏会を開催いたします。演奏は札幌コンサートホール・キタラの第7代専属オルガニスト、マテュー・マニュゼスキ氏です。

マニュゼスキ氏は、1981 年生まれ。8 歳でオルガンを学び始め、1996 年、サントメール国立音楽学校に入学、3 年後には審査員の全員一致により金メダルを獲得し卒業。次いで、国立ランス地方音楽院に入学、金メダルを獲得し、音楽養成部門でも 2 位を獲得されました。

2002 年には、パリ国立高等音楽院のオリヴィエ・ラトリおよびミシェル・ブヴァールのオルガンクラスに入学。サンジェルマン・デ・フォセ・コンクールおよびアンジェ芸術アカデミー・グランプリにおいて決勝に進出されています。

また、2002 年よりオーベルヴィリエのノートルダム・デ・ヴェルテュ教会大オルガンの専属オルガニストの一人として活躍。

今年 2004 年 9 月には、札幌コンサートホールの新しい専属オルガニストに就任。11 月 13 日（土）の午後には同ホールでデビューリサイタルが予定されています。なお、キタラの専属オルガニストの方に北大で演奏して頂くのは今回が初めてとなります。

学生、教職員等多数ご来聴くださいますよう御案内申し上げます。



記

日時 2004 年 11 月 26 日（金）
午後 6 時開場、午後 6 時 30 分開演
場所 クラーク会館講堂 入場無料
演奏 マテュー・マニュゼスキ
主催 北海道大学
共催 北海道大学パイプオルガン研究会

(演奏曲目)

J. S. バッハ 幻想曲とフーガ ト短調
“いざ来たれ、異教徒の救い主よ”
(18 のライブツィヒ・コラールより)
ほか